

教育理念	「学力がつく・やりたいことを確める」新しい高校	当年度の課題
目標(テーマ)	・基礎学力を身につけ高校卒業 ・学ぶ楽しさを再発見 ・したいことにチャレンジ ・徹底な個人指導と親身なサポート体制	・学習指導要領に基づき、質の高い教育を展開できるよう、レポート及びスクーリングの内容を充実させ、教職員の指導体制を強化する。 ・いじめの防止等に関する措置を効果的に実施するためにいじめ対策委員会を運営する。 ・コンプライアンスの取り組みを強化し、より質の高い学校運営をする。

※評価基準…A:十分達成できている B:達成できている C:概ね達成できている D:不十分である E:出来ていない

分類	評価の観点	評価項目	具体的な評価項目	評価	評価の観点と理由	改善策	
学校運営	教育課程	教育目標	多様な生徒の学力・体面など、個々の状況に応じた適切な支援・指導を指せるものになっているか。	A	・教育課程は、左記内容の表現に向け標準的な履修科目以外の科目も柔軟に選択できるように編成されている。 ・入学時や進級時の履修相談にあたっては、生徒の希望に応じた履修を認めている。	・レポート・スクーリング・メディア学習・試験等の具体的な学習の展開においては、引き続き、アンケートや日々の生徒とのコミュニケーション等を通して、生徒のおかれている現実や学習面の理解等を把握する。 ・特に精神的及び学力的に不安のある生徒の平素の学習状況については、担任・各科目担当教員を中心に、全職員で支援できる体制を更に整備していく。	
		学習指導要領の対応状況	教育課程は学習指導要領に準拠しているか。また、その編成・実施の考え方について教職員間で共有ができていないか。新教育課程の対応準備ができていないか。	A	・教育課程は学習指導要領に準拠している。 ・教育課程の編成・実施の考え方については共有ができていない。 ・新教育課程の準備は姉妹校3校合同で行い、教科単位の研修内容が実践できている。		
	教職員連携	組織運営	校務分掌や主任体制などが適切に機能しているか。学校運営・責任体制が整備されているか。	A	・組織運営や校務分掌、各主任及び主事体制が適切に運用され、新任教員へのサポートも適切に行われた。 ・コンプライアンス研修を毎月オンラインで行った。 ・スクールロイヤーを委嘱し、コンプライアンスやトラブル対応など様々な局面でアドバイスを求めるようにした。	・校務分掌や主任体制は整備されているが、学校や生徒の状況に応じて新たに部を設けるなど、柔軟な姿勢を維持する。	
		教員・教務間の連携状況	教職員間の相互理解がなされ、共有及び信頼関係が構築された教育活動が行われているか。	A	・メールや意見交換アプリを用いて教職員が意思疎通できる体制を整えており、教職員間の相互理解・信頼関係に基づいた教育活動が行われている。	・教員間、事務職員間の連携・情報共有のため、引き続き職員会議を更に質の高いものにしていく。	
		教員と事務職員の連携状況	教員と事務職員の情報交換の機会があるか。また、それらの機会を通して、相互理解及び連携がとれているか。	B	・定期的な運営会議、職員会議を通じて教員と事務職員の情報交換ができた。 ・事務が学習管理アプリを用いて適宜学習に関する情報発信を行い、教員も担任生徒指導に役立てることができた。	・各主任、主事が適宜自発的に会議を招集してい体制を引き続き維持し、情報共有や意思統一をさらに強化する。	
	学校設置会社及び財務関係	学校設置会社の役員及び様式の状態	学校を運営するにあたり適切なものとなっているか。また、その状況は学校設置会社の役員及び様式の状態が事業報告書に記載されているか。	A	・役員・決算(IR)状況は、学校を運営するにあたり適切なものである。 ・学校運営担当役員は旧ルネサンスアカデミーと合わせて18年の運営実績がある。 ・2021年度以降はブロードメディア株式会社のHPの「企業情報」「IR情報」「有価証券報告書」のページに決算状況が開示されている。	・引き続き適切な運営、情報公開を行う。	
		学校の経営に必要な財産等の状況	学校を運営するにあたり適切なものであるか。また、その状況は学校の経営に必要な財産等の状況が事業報告書に記載されているか。	A	・学校設置会社の経営及び財産に関する状況は学校を運営するにあたり適切なものである。 ・なお、より永続的・安定的な学校経営を行うため、上記の通り2020年度より運営会社の変更をしており、その状況についても同様にHPに開示されている。		
		高等学校等就学支援金	高等学校等就学支援金に係る事務について点検体制を確立し適正に執行しているか。	A	・就学支援金については、事務体制を維持し適正に執行されており、担任教員と事務職員とで連携し各生徒家庭に書類提出について周知を徹底することができた。	・生徒家庭の家計急変時にも即座に対応できるよう、担任教員と事務職員との連携を強める。	
	施設及び設備	面接指導等を実施する施設・設備	面接指導等を実施した校舎の施設・設備は教育上適切であったか。	A	・スクーリングは特区地域内の学校で適切に行われた。 ・すべての授業で定員40名を超えることなく実施できた。 ・速いすを利用する生徒の受け入れに際し、リニアフリーのお手洗いを設置している。 ・体育室を増設し、生徒数の増加に対応した。	・引き続き多様な事情を持つ生徒に設備面で柔軟に対応する。	
		役割分担	事故・災害などに対する教職員の連携及び役割分担が明確になっているか。	A	・緊急時の役割分担は、防災マニュアルで全教職員と共有できている。		
安全管理		安全な学習環境づくり(校舎の内外の安全点検管理及び活動)を推進しているか。	A	・校舎内外の安全点検が定期的に行われた。	・地震を想定した避難訓練以外に津波を想定した避難訓練も実施する。		
危機管理対応状況		危機管理マニュアルに基づき、警報、消防と連携するなど、安全対策がとれているか。	A	・関係各所(警察・消防・学校医など)の連携はとれており事件・事故・災害などの際の対応体制も整っている。			
個人情報管理	個人情報管理	生徒情報管理が適切に行われているか。	A	・プライバシーマークを取得している。(2017年) ・個人情報管理に関する研修を定期的に行っており、生徒のプライバシー確保を徹底している。 ・コンプライアンス研修を毎月実施している。	・研修体制をさらに整え、生徒情報管理を徹底する。		
	スクーリング参加状況	年間計画に基づいたスクーリング実施と参加の促進が行われているか。	A	・学校定員と例年の出席率を考慮したスクーリング実施回数を設定し実施できた。担任からスクーリング参加促進も行われていた。	・スクーリング参加時期についても、生徒個々の事情を担任が把握し、引き続き柔軟に対応できる体制を整える。		
教育内容・支援	面接指導・進路指導等	スクーリングの内容・運営状況	・学習指導要領に則り、適正な時間配・規模で行われているか。 ・各科目担当者が創意工夫を行い、生徒の興味・関心・意欲が高められる授業を展開しているか。	A	・学習管理アプリを用いて生徒が授業中に意見を述べやすい環境を作ったり、生徒同士のコミュニケーションや実験を授業に取り入れるなど、各教員が工夫を重ね生徒主体の、学ぶ楽しさを体感する授業を展開できている。	・新任教員には授業実施に際して教科内で研修を行っているが、授業満足度を高める研修を全教員を対象に実施する。	
		レポートの内容・添削状況	・学習指導要領に則り、興味・関心・意欲が高まるよう教材の内容を工夫するとともに、複数メディア導入に伴う生徒の学習成果の確保を的確に行っているか。 ・生徒一人ひとりの学習状況に応じた解説を加えた指導を行っているか。 ・インターネットを活用した添削指導に遅延がないよう、計画的に業務を行っているか。	A	・レポート学習の際には、昨年度同様、顔認証による個人の確認をしている。 ・メディアを含む学習内容は、生徒の学習成果(興味・意欲・関心)が上がるよう、引き続き細やかに改善している。 ・レポート学習の成果が測れるよう試験を運動させたものとしている。 ・レポート添削については、選択・編達の面形式の問題について不十分になった問題に対する個別の解説や指導を充実させ、より生徒一人ひとりの習熟状況に応じたものとしている。 ・添削指導に遅延がないよう計画的なメールアナウンスが教員に対してなされている。(添削指導については本校所属の教員が行っている。) ・毎月20日のレポート締切にむけ、教員が電話等を活用して生徒への提出を促すことができた。	・オンラインでの進路指導・小論文指導・学習サポート等を引き続き実施し生徒の学びをさらに充実させる。 ・メディア学習の内容を、生徒の実態を勘案しつつ、より適切なものへと不断に改善していく。また、全てのメディアについて、計画的かつ継続的な学習に十分な視察時間を引き続き確保する。	
		試験	試験の実施	学習成果が適切に評価できる時期に試験を実施しているか。	A	・定期試験は年度末に、レポートとスクーリングを終えた上で、教員監督下で適切に実施している。試験問題は一年の学習内容を網羅し学習成果が評価できるものとなっている。	・試験内容を引き続き定期的に見直し、生徒の学習成果を評価できる内容を維持する。
	情報発信	ネットの有効活用	独自でネット開設している連絡・学習サイト「マイページ(連絡)」にて、タイムリーな情報提供を行っているか。	A	・左記「マイページ」により、学校イベントなどの情報提供を行った。スクーリングや進路についての情報発信を積極的に行った。 ・「ルネ高アプリ」のインストールを推奨し、プッシュ通知により生徒、保護者への周知を行っている。	・マイページで提供する情報の内容をさらに充実させる。 ・教員の業務負担軽減を目的とした業務のDX化について、更に推進する。	
		個人に対する効果的な情報提供	上記「マイページ」にて、生徒及び保護者が、学習進捗の確認や各分野(進路など)の情報が閲覧できるようにしているか。	A	・学習進捗状況は生徒及び保護者マイページで確認できる仕様になっている。また各部からの情報も項目ごとに掲載されている。		
	情報教育	情報能力知識	各種活用能力の知識を向上させているか。	A	・教科を問わず授業内でデザインツールやオンライン掲示板アプリ、学習管理アプリ等を利用し、生徒が様々なツールに触れる機会を作り、その活用能力を向上することができた。	・引き続き各ツールを活用した授業を実施することで生徒の活用能力を高める。	
		情報モラル指導	情報発信・公開に伴う責任など情報モラルの教育に取り組んでいるか。	A	・個人情報取り扱い、情報モラルに関してマイページで啓発を行うとともに、情報科のレポート、スクーリング授業内で指導している。	・SNSトラブルを防止するためネットリテラシーやSNSの活用方法について引き続き指導する。	
	生徒・進路・保護指導	生徒指導	指導方針の一貫性	・指導方針に従い、生徒及び保護者の満足度(進級卒業・進路決定など)が高められているか。	A	・年度の初めに職員会議にて学校生活ルールを確認、全教職員が生徒指導に関し共通理解を持つことができた。都度起こる生徒指導案件についても生徒指導部と担任が協力して指導にあたり、指導後速やかに情報共有することで再発を防止できている。	・生徒数の増加とそれに伴う教員数の増加の現況下、多様化する生徒家庭が抱える問題について教員が研鑽を積み続けられるよう、スクールロイヤー、スクールソーシャルワーカーと連携し引き続き研修を行う。 ・外部機関との連携を強化し、より質の高い生徒指導を目指す。 ・生徒家庭の満足度を測るアンケートの実施を検討する。
			家庭との連携状況	計画的かつタイムリーな連携をとり、充実した学校生活が送れるよう支援しているか。	A	・家庭との連携については、担任教員が電話・メール・SNS等を活用し連絡・意思の疎通に努めている。 ・特にスクーリング参加予定の生徒の体調(特病)について教員間で情報共有し、生徒が安心して登校、授業参加できるよう生徒家庭と協力できた。	
		進路指導	いじめ等の問題行動の未然防止	すべての生徒が安心して学校生活を送れるよう、基本方針に基づき、いじめ対策委員会が設置され、適切に運営されているか。	A	・令和5年8月にいじめ対策委員会がスクールロイヤーの監修のもといじめ防止基本方針を改訂した。	・教職員がいじめに関する知識を正しく理解し、且つ未然防止に資するよう、いじめ防止基本方針に基づいた研修の場を設ける。
多様な進路実現の支援			生徒一人ひとりの状況に即し、主体的な進路選択に結びつた適切な指導を行っているか。「大学入試共通テスト」等への進学指導・生徒対応は充分に行えたか。	A	・進路について進路指導部が都度必要な情報を学習管理アプリを用いて発信しており、担任教員全員に周知できている。 ・希望する進路の実現(進学・就職)に向け、生徒・保護者用マイページにて生徒・保護者へきめ細かい情報提供を実施している。 ・就職説明会、共通テスト説明会、また進路決定を目標に進路説明会を実施し、生徒・保護者に適切な情報を提供することができた。 ・担任が面接指導、小論文指導など十分な対策を行っている。	・引き続き担任教員と進路指導部が協力し、きめ細やかで適切な指導を行える体制を維持する。 ・入学時から進路実現に関する意識付けと計画的・継続的な施策を引き続き講じる。	
保健指導	健康の保持増進	生徒が心と体の健康を自ら管理できる知識と実践力を育成しているか。健康診断・歯科検診および保健指導は適切に行えたか。	A	・スクーリング前には参加する生徒の健康上の留意点に関する申告事項を、保護者にwebページに記入を依頼し、教員が共有できるようにしている。 ・健康診断のスムーズな実施に向けて案内の送付、保護者からの問い合わせに迅速に対応した。 ・教職員対象の救急救命講習を実施した。 ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、恒常的に生徒・保護者が相談する機会を設けることができた。	・スクーリングにイベント注射を持参し来校する生徒が増えているため不測の事態に備え、救急救命講習を引き続き実施し教員の対応力を強化する。 ・「マイページ」に「保健だより」を掲載する以外の啓発活動を行う。 ・健康診断・歯科検診受診者をさらに増やす。		
その他	教職員研修	教職員が計画的に校内研修に参加できる習慣や体制が整備されているか。	B	・毎月オンラインによるコンプライアンス研修を全教職員が受講している。 ・姉妹校合同による初任者研修を行った。 ・スクールカウンセラーとスクールロイヤーによる教職員研修を行った。	・校内研修の実施回数を更に増やし、教職員の資質をさらに向上させる。		
	他校及び関係機関との連携	姉妹校(ルネサンス高等学校・ルネサンス豊田高等学校)と、通信制高校の在り方などについて情報交換等を行い、学校全体の教育力を高めることに努めているか。	B	・毎月行われる設置会社主催の本部会議において、姉妹校との情報交換等を行い会議の内容を深めた。 ・全国私立通信制高等学校協会の学校運営研究会に参加した。	・姉妹校があることのメリットを最大限に活かし、連絡を密にとり、運営方法全般に関する事例等を共有できる仕組みづくりをさらに整えていなどして、教育力の向上を図りたい。		
	地域との連携	地域行事に参加し地域に貢献できたか。	B	・大阪市北区役所主催の夢キタ万博において、生徒2名がトークショーに出演して、地域に貢献することができた。	・引き続き地域の活動への参加を積極的に行う。		

校長 教頭 事務長